

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター元浜 担当圏域レベル）開催報告書	
1 開催日時	令和 6 年 11 月 22 日 （ 金 ） 10 時 00 分 ～ 11 時 30 分
2 開催場所	常盤工業株式会社1階会議室
3 参加者	19名 委員8名（曳馬地区4名、北地区4名）、関係機関11名
4 協議の内容	1. 開会 2. 挨拶 元浜圏域生活支援体制づくり協議体会長 3. 協議事項 (1) 前回会議の振り返り パワーポイント資料を用いて前年度協議体会議の振り返りを行った。 (2) 中沢マルシェについて 地域包括支援センター元浜より、昨年度から実施している中沢町の移動スーパーの取り組みについて経過報告を行った。 (3) ほっとスペースmoca（モカ）の取り組みについて 新津町の一軒家を利用し、集いの場に利用できるスペースとして9月にオープンした「ほっとスペースmoca」について代表者より報告があった。 認知症カフェ「もカフェ」として月に2回を実施。認知症に興味のある人や高齢者が集えるような空間作りと認知症に対する知識の普及、元気な高齢者の居場所づくりを目指し、うた声喫茶や健康チェック、脳機能を高めるリズム体操、個別の健康・介護相談も対応している。毎回10～20名ほど参加している盛況ぶりであるが、今後は男性の参加者も増やしていきたい。 (4) 常盤工業株式会社の取り組み 総合建設会社である常盤工業株式会社について、地域と協働している取り組み事例について紹介された。会社の敷地を活かした地域の交流を生むイベントや、教育機関との連携として校外学習や講座の実施等を行っている。また防災にも力を入れており、自治会との災害協定を結んでいたり、町民と合同の災害訓練等も実施。今後も地域と連携・協働しながら広い意味での社会への価値提供を行っていききたいと話された。 4. 連絡事項 次回会議日程：令和7年1月22日（水）10：00～11：30 5. 閉会

5 今後の見通し・ 必要な対応	
----------------------------	--

	今回の協議体では、地域で取り組まれている「居場所」の情報提供として、さまざまな取り組みについて話を聞いた上で意見交換を実施。地域の力だけでは限界があるなか、企業などの社会資源を活かした地域活動にも注目し、今回は企業の取り組み事例を聞いた。今後も「高齢者の居場所づくり」のための可能性を広げていくために協議をすすめていきたい。
--	---